

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	安曇野市教育委員会					
代表者名	氏名	橋渡 勝也	役職名	教育長		
主たる事務所の所在地	長野県安曇野市豊科6000					
主たる事業の分類	大分類	S 公務（他に分類されるものを除く）				
	中分類	9 8 地方公務				
主たる事業の概要	市教育委員会					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2180	2115	2219	2096	2037
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4619	4482	4701	4435	4305
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	58		57	57	57
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	67				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度	計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
報告対象年度	平成 31 年度		

3 計画書（報告書）の公表方法等

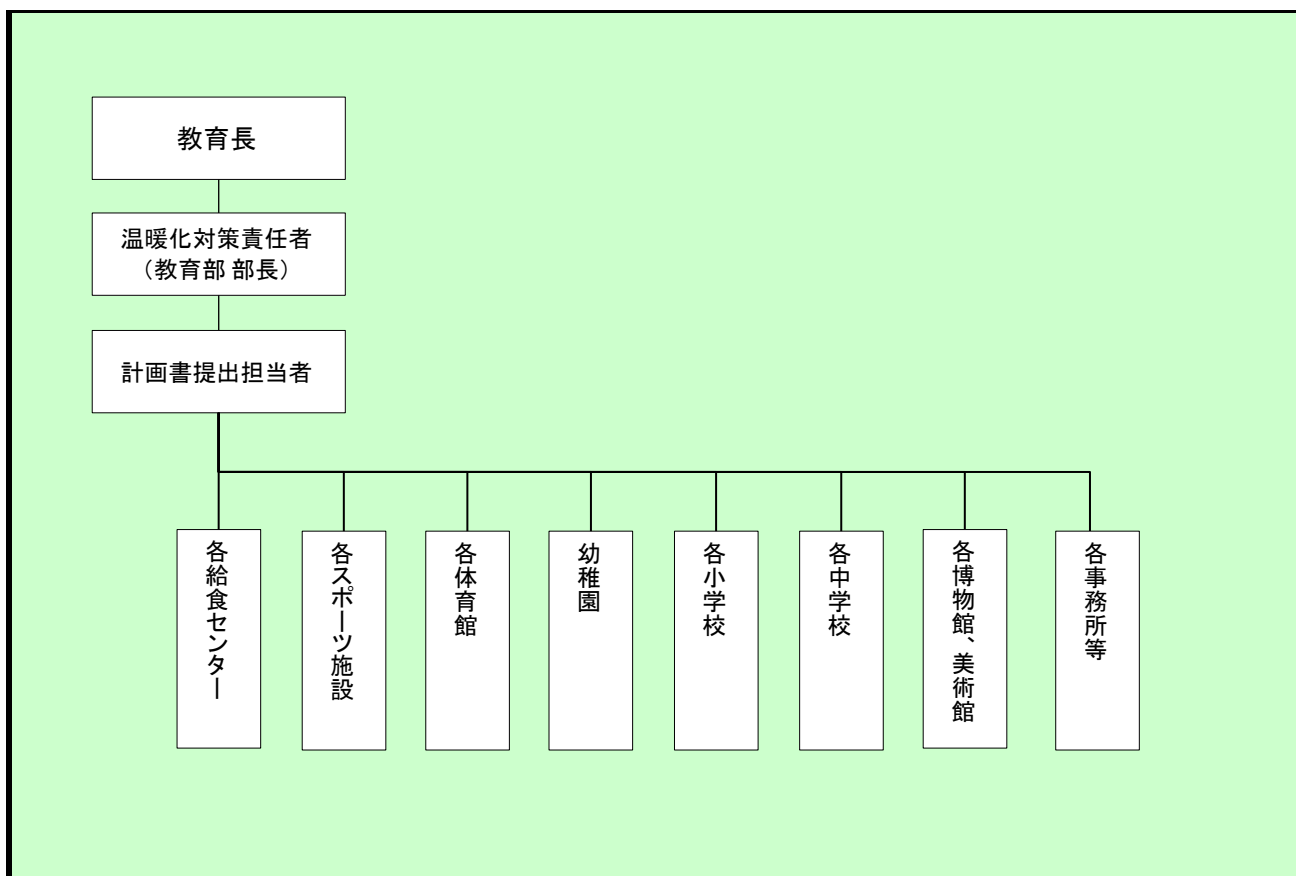
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.city.azumino.nagano.jp/
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

市は、自らが大規模な消費者・事業者であることを認識し、市が実施する全ての事務・事業に対し、地球温暖化防止に向けた取組みを率先して行うことにより、温室効果ガスの排出を抑制し、地域の模範となるよう努める。

取り組みとしては、省エネルギーの推進、公共工事等における環境負荷の低減、職員の環境保全率先行動等を実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

平成28年度導入のエコアクション21の運用によりPDCAを行い、必要に応じ部長会議による意見交換を行う。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,619	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	4,591	t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	4,482	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
31年度	目標削減率	2.96	%	目標削減率	3.00	%		3
目標設定に関する説明	年1%以上の排出抑制を目標とする。						※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。	
第一年度	排出量	4,701	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,667	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
29年度	削減率	(1.78)	%	削減率		%		-2.5
排出量等の増減理由	博物館、美術館における催事の増加に伴う電気使用量の増加。施設における冷暖房設備の使用に伴う電気・灯油使用量の増加							
第二年度	排出量	4,435	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,409	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
30年度	削減率	3.98	%	削減率		%		5.3
排出量等の増減理由	暖冬等の外的要因のほか、省エネ行動の推進により、ほとんどの施設で電気・灯油・ガソリン・軽油使用量が減少した。また、一部施設において、建て替えによる床面積の増加、エアコンの設置等により電気使用量の増加があった。							
第三年度	排出量	4,305	t-CO ₂	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	4,274	t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
31年度	削減率	6.79	%	削減率		%		9
目標の達成状況及び排出量の増減理由	暖冬等の外的要因のほか、省エネ行動の推進により、ほとんどの施設で電気・灯油・ガソリン・軽油使用量が減少した。また、一部施設において、建て替えによる床面積の増加、エアコンの設置等により電気使用量の増加があった。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	67	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110101 推進体制の整備	29~30		29~31	
2	エネ起	130101 設定温度、除湿の適正化	29~31		29~31	
3	エネ起	130105 運転時間、ファン動力の軽減対策	29~31		29~31	
4	エネ起	150204 適正照度の管理	29~31		29~31	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	28		34	26	31
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	70	4,619	70	4,701	71	4,435	72	4,305
合計	70	4,619	70	4,701	71	4,435	72	4,305

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	0	0	0	0
合計	0	0	0	0
自動車総数	58	57	57	57
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	ノーマイカー通勤ウィークの実施
公共交通機関の利用促進	私用車の駐車場を有料とするディスインセンティブの設定
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	施設間メール便の効率化

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコアクション21	平成28年度
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	「緑のカーテン」の設置。一斉定時退庁日（水曜日）の実施、夏季におけるクールビズ及び冬季におけるウォームビズの実施。
第一年度実績	「緑のカーテン」の設置。一斉定時退庁日（水曜日）の実施、夏季におけるクールビズ及び冬季におけるウォームビズの実施。
第二年度実績	「緑のカーテン」設置。一斉定時退庁日（水曜日）の実施。クールビズ・ウォームビズの実施。
第三年度実績	「緑のカーテン」設置。一斉定時退庁日（水曜日）の実施。クールビズ・ウォームビズの実施。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	施設改修に伴うLEDの導入(削減量は不明)	
その他		